

平成29年6月定例会

●会期 / 6月2日～7日



西五百川小すもう大会で、横綱土俵入りの場面（6月3日）

りんごとワインの里
あさひまち

議会だより



土俵ぎわでの接戦のようす

空気に感謝する議会

6月定例会 一般会計補正予算質疑ほか … 2～3
第1回臨時会・西村山広域行政事務組合臨時会

議員構成と町執行部の顔ぶれ …………… 4

請願 政務活動費収支報告 …………… 5

「町の考えを問う」4議員の一般質問 …… 6～9

議会報告会終了 …………… 10

議会活動の紹介 …………… 11

町民の声 若き農業後継者の声 …………… 12

一般会計 補正予算 質疑

松尾議員 産地パワーアップ事業は、ぶどう生産者の安定経営を図るための補助事業として、非常に期待される振興策だが、対象地区と事業の内容について伺いたい。

農林振興課長 柏原ぶどう団地（生産者4人）を対象としており、雨よけハウス約0・4ha分で、主力品種シャインマスカット生産への補助です。



補助対象雨よけハウス

長岡議員 旧送橋小を拠点とした「お試しサ

テライトオフィス事業」の業務委託費250万円。その具体的な内容は。

総合産業課長 サテライトオフィスとして中期にわたって使用していたため、旧送橋小の教室などのデザイン設計や、関心がある企業のニーズ調査に係る委託料です。

柴田議員 商工振興費の工事請負費348万円、庁用器具費100万円の補正だが、どのような工事内容か。また、どのような器具を揃えるのか。これまで使用してきたもので対応できないのか。

総合産業課長 旧送橋小と朝日自然観で、Wi-Fi回線をパソコンと繋がないで活用できるように工事をするもの。また、旧送橋小一階の

部屋を活用するため水道工事等をするものです。なお、再利用できるものは、再利用します。

細谷議員 地方消費者行政活性化事業とは、具体的にどのような事業か。また、16万円を補正した内容は。

総合産業課長 自分の大切な財産を守る力に身につけ、悪徳業者の手法にだまされないようにする。また、クーリングオフ制度の活用方法を周知するための事業であり、今回の補正はそれに対応するパンフレット等の購入費です。

白田議員 新農業人フェア6万5千円の補正内容は。
農林振興課長 今年度の開催場所は、仙台と東京（二回）が会場だが、

ブース代が高騰したため費用です。

鈴木光一議員 りんご輸出事業の増額と旅費が80万補正されているが、新たな取り組みがあるのか。



台湾でのトップセールス

農林振興課長 新しい都市への販路拡大を目指し、台湾・タイ・香港等でトップセールスやプロモーション活動を行う予定です。

鈴木義昭議員 寒河江で行われる雪フェスティバルに今年も負担金を出すが、町内へのメリットが見えない。町内への誘客対策は考えているのか。

総合産業課長 寒河江まで来たお客様を、朝日町へ誘客できるように対策を考えていきます。

松尾議員 畜産経営の競争力を強化する事業は、畜産業の安定経営を図るため、競争力を持続させる振興策支援の補助事業であるが、対象となる団体と具体的な事業内容は。

農林振興課長 雪谷畜産団地組合への補助で、繁殖牛舎整備及びメス牛10頭分等を支援する事業です。



牛舎

用語の解説
 (※1) お試しサテライトオフィス 地方への新たな人や情報の流れをつくるため、都市部のベンチャー企業等による「お試し勤務」を通じて、その後の中長期的な企業誘致に繋げるための施設。
 (※2) Wi-Fi (ワイファイ) パソコンやテレビ、スマートフォン、タブレット、ゲーム機などのネットワーク接続に対応した機器を、無線で接続する技術。

財産の取得に関する質疑

白田議員 8t級除雪ドーザに、キャタピラー・ジャパン製の機種を選定した理由は。また、オペレーター意向を聞いての選定か。
建設水道課長 入札の結果、キャタピラー・ジャパンが最低価額であったために決定しました。機種については、以前にも納入、使用されており、オペレーターの意向を聞いても良好とのことでした。



納入予定と同型の機種

可決

可決された2議案

- ①放課後児童クラブ施設建築工事請負契約の締結**
 指名業者8社による競争入札
 ・落札したのは、
 小野・大東特定建設工事共同企業体
 ・契約金額 1億800万円
 ・完成期限 平成30年2月16日

- ②財産の取得**
 除雪ドーザ(8t級・車輪式) 1台
 ・規格 キャタピラー・ジャパン910K
 ・取得価格 1,076万円
 ・購入先 寒河江重車輜(株)
 ・納入期限 平成29年12月22日

鈴木義昭議員 納入期日が12月22日となっているが、降雪前(12月1日頃)の納入はできないのか。
建設水道課長 受注生産のために日数がかかるものですが、納期を少しでも前倒しできないか業者に依頼してみます。



第3分団第4部に配備予定の同型車

可決

財産の取得 全員賛成で可決

小型動力ポンプ付積載車 1台
 第3分団第4部 栗木沢地区に配備

- ・規格 ダブルキャブ4WDディーゼルB2級
- ・取得価格 810万円
- ・購入先 (株)長谷川ポンプ製作所(山形市)
- ・納入期限 平成29年7月20日

臨時会

5/1

◆西村山広域行政事務組合のあらまし◆

- (1)名称 西村山広域行政事務組合
- (2)所在地 山形県寒河江市本町二丁目8番3号
- (3)設立年月日 昭和47年3月23日
- (4)構成市町 寒河江市、河北町、大江町、朝日町、西川町
- (5)共同処理する事務

共同処理する事務	市町
西村山広域市町村圏計画の策定及び当該計画に基づく事業の実施及び連絡調整に関する事務	寒河江市、河北町、大江町、朝日町、西川町
消防(消防団及び消防水利に関する事務を除く。)及び救急業務に関する事務	
養護老人ホームの設置及び管理運営に関する事務	
交通災害共済に関する事務	寒河江市、大江町、朝日町、西川町
衛生処理場、火葬場の設置及び管理運営に関する事務	

平成29年
 西村山広域行政事務組合の概要と第一回臨時会(5月29日)の内容をお知らせします。



救助工作車での訓練に励む隊員

可決

可決された2議案 財産の取得

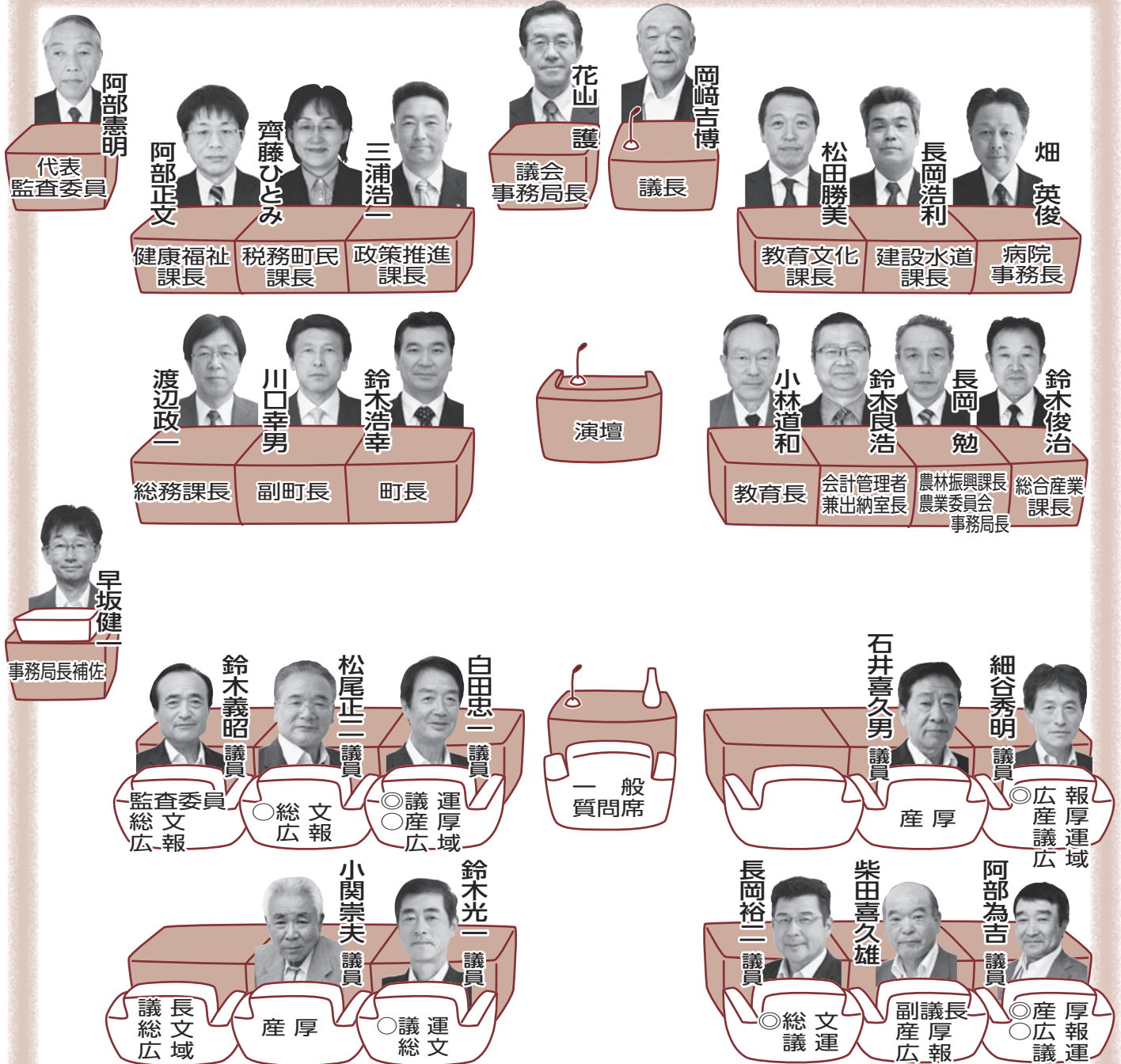
- ①救助工作車 1台**
 - ・取得価格 1億1,898万円
 - ・購入先 株いそのボデー(山形市)
 - ・納入期限 平成30年2月28日
- ②消防ポンプ自動車 1台**
 - ・取得価格 3,953万円
 - ・購入先 近藤防災(株)山形営業所
 - ・納入期限 平成29年12月5日

5月29日第1回臨時会で正副議長の選挙と監査委員の選任が行われ、下記の通り選出されました。

- 議長 内藤 明 (寒河江市)
- 副議長 岡崎 吉博 (朝日町)
- 監査委員 伊藤 哲治 (西川町)

議場・議員の役職

平成29年第1回臨時会（5月1日）において、今後2年間の朝日町議会の新たな構成が決まりました。議場の配置図と合わせて紹介します。



- 総文…総務文教常任委員会
(総務課、政策推進課、税務町民課、教育文化課関連)
- 産厚…産業厚生常任委員会
(健康福祉課、農林振興課、総合産業課、建設水道課、町立病院関連)
- 広報…議会広報常任委員会
- 議運…議会運営委員会
- 広域…西村山広域行政事務組合議会議員

◎委員長 ○副委員長



傍 聴 席

請願

小原地区内「町道小原線」の舗装及び側溝整備について

請願者 小原区長 菅井 俊美

紹介議員 長岡 裕二

採決の結果 「一部採択」

この請願については、2つの請願内容があり、1つは町道の舗装、1つは和合堰の町道区間の側溝整備の2つであります。**町道部分**については「**採択**」。**和合堰**については、和合地区の水利組合が管理するものであり、農林振興課サイドの補助事業で対応できるものと判断し「**不採択**」としました。



産業厚生常任委員会の現地調査

政務活動費について

平成24年の地方自治法の改正に伴い平成25年度から、朝日町議会でも月額5,000円の政務活動費を、請求した議員に対して支給しています。

支出項目は、調査研修費、資料購入費等8項目に限定されています。また、

- (1)調査研修費の旅費は、町の規定に準じ公共交通機関、高速道路料金及び宿泊料のみであり、飲食、雑費、日当などは含まない。また、車借上げ代とその車の燃料費は認めるが、個人の車を使用する場合は、使っただけの燃料費は認め車代は認めないこと。
- (2)資料購入費の新聞は、政党紙を除く2紙以上の購読で、そのうち1紙分の購読料の2

分の1を対象とすること。また、図書購入費は、議長が認めたものに限ること。

- (3)事務費は、機器の借上げ等に充当し、電話代は認めないこと。
- (4)その他、飲食代などは一切認めないこと。

など、朝日町議会独自に用途基準を決めて運用しています。

なお、収支報告書及びその裏付けとなる領収書については、町のホームページでも公開しているほか、議会事務局に申請していただければ、町民の方であればすぐに閲覧できます。

問合せ先 朝日町議会事務局 67-3306

○平成28年度 政務活動費の使途状況

(単位：円)

氏名	使 途 (経費項目別)							支給額
	調 査 研 究 費	研 修 費	広 報・ 広 聴 費	会 議 費	資 料 購 入 費	事 務 費	報 告 額 合 計	
細谷 秀明		52,680			2,916	6,114	61,710	60,000
石井喜久男	92,940						92,940	60,000
白田 忠一		45,860			20,364		66,224	60,000
松尾 正二							-	-
鈴木 義昭	92,940			5,000			97,940	60,000
阿部 為吉	92,940						92,940	20,000
柴田喜久雄		44,910			28,643		73,553	60,000
長岡 裕二	92,940						92,940	60,000
鈴木 光一	92,940				3,529		96,469	60,000
小関 崇夫	92,940						92,940	60,000
岡崎 吉博	92,940						92,940	60,000
阿部 正明			47,584				47,584	45,000

※上記以外の経費項目「要請陳情等活動費」「資料作成費」については支出なし。

※阿部為吉議員については、年度内補欠選による再選により平成28年12月から平成29年3月までの4ヶ月分が支給。

※阿部正明前議員については、年度内途中辞職により平成28年4月から平成28年12月までの9ヶ月分が支給。

※松尾議員については、請求がないため支給なし。

●“第5弾”町総合戦略3年目 就業・創業・就農は創生できるのか!

町長…「しごとサポート連携協議会」 を立ち上げ町全体で連携し、 ワンストップで支援します。



松尾 正二 議員

タスクチームでの 戦略とは

松尾 創生総合戦略事業は、町消滅の危機に立ち向かうために作られた戦略である。策定されてから3年目となる今年度は、特定の課題に対して組織間の壁を乗り越えて取り組むタスクチームを編成し、就業・創業・就農を支援するようだが、どのような戦略か。



かつての賑わいを取り戻したい!

町長 人口減少の幅を可能な限り抑制し、「ひと」が「しごと」を作り「まち」を作るといふ流れを確かなものに

するために、住宅対策を中心に移住対策・定住対策を進めてきました。しかし、生活をしていくには「しごと」が不可欠であり、就労にも力を入れていく必要があります。そこで行政、金融機関、商工会、農協、観光協会、ハローワーク等が連携したタスクチーム「しごとサポート連携協議会」を立ち上げ、垣根を越えて町全体で就職・創業・就農を支援していくものです。

これまでの総合 戦略の成果は

松尾 山形県は、昨年度の新規就農者（65才未満）が、300人を達成したことを公表した。当町でも、新規就農の促進策を展開しているが、過去5年間の

戦略とその成果は。

町長 新規就農者は、27人おり内7人が新規参加者です。研修を受け入れる協議会の組織化や、農業研修生等の



元町地区に整備された新規就農者受け入れ研修宿泊所

宿泊施設を整備するなど、新規就農しやすい環境づくりを行うとともに、やる気のある新規就農者の経営を支援するため、農業次世代人材投資事業をはじめ就農計画に沿った機械等導入補助を実施しています。

企業誘致は、 もう断念したのか

松尾 働く場を確保することこそが、当町にとって最大の産業振興策である。企業誘致による働く場の確保は不可欠であり、これまで再三にわたって提言したが、なぜ実現しないのか。

町長 新たな誘致による働く場の確保は、雪対策や交通アクセス、技術者確保等の課題が山積しており、非常に難しい状況です。地元企業への支援が第一と考え、広報紙での紹介等により働く場としての魅力を広く伝え就職を促すことが、企業誘致に匹敵する有効な手段と考えます。既存企業を支援し、働く場を確保していきます。



小関 崇夫 議員

● 特定空家(廃屋など)の根本解決には更なる国の制度改善が必要だ

町長…県や全国の町村(長)会に、国に要求するよう働きかけていきます

廃屋対策は

小関 「廃屋問題の第一義的解決法は、所有者が責任を持つことだ」といくら主張しても、事は前進しない。

全国の少なくない自治体で解体費に助成制度を設けている。左図に示した2自治体の取り組みは、どちらも住民が建物の解体に応じる成果を上げている。町の条例にある「指導、勧告、命令」といった措置は上からの目線で、所有者の心に届く

対処にはなっていない。**町長** 適正に管理、解決している方とのバランスも考えて進めたいと思います。町の空家等対策協議会で意見をいただき検討していきます。

小関 前田沢地内にあるミカド電子工場跡地の対策は進んでいるのか。**町長** 同工場はみなし解散の登記になっていますが、消滅した会社にはなっていない。債権者の山形県信用保証協会と引き続き話し合いを重ね、解決策を

見出す努力をしています。当物件の壊れた窓から動物が入らないような措置をとれるかどうかについては、他の様々なケースとのバランスを保った中で、どういった対応がとれるか検討していきます。

小関 豊龍公園内にある潰れたままの民家跡地は、草の根で覆われ飛散の危険はないようだが、敷地内から伸びる孟宗竹が他の敷地へ侵入している。町による代執行で解決する方法もあると思うが。**町長** 所有者に廃材の撤去を求めています。解決には至っていません。町が代執行しその費用を所有者に求めることについては、その行使手続きに時間を要することから、もう少し検討

させていただきたいです。**小関** 国の空家措置法の15条に、空家問題解決に向けての支援策の一つに「地方交付税の拡充」が明記されている。これに該当する事業を町はしているのか。これを活用できる調査、研究を急ぐべきだ。あわせて、これを柔軟に活用できるガイドラインを国に求めていくべきだ。さらに、宅地を更地化すると、地方税である固定資産税が6倍化(200㎡以下)するという国の一律規定もおかしい。これらの制度改善を町村(長)会で国に堂々と要求してもらいたい。

町長 交付税対象の事業はまだありません。ご指摘の要求を、県や全国の町村会に積極的に働きかけていきます。

解体・更地化費用に助成している自治体 2例

1 東京都杉並区

- ▶対象物件
 - ・特定空家(廃屋)の所有者が個人であること(法人は不可)
 - ・全住戸が空家の共同住宅
- ▶除却工事費の80%助成限度額150万円

2 北海道西興部村

- ▶空家解体撤去費の50%助成限度額100万円
- 人口1100人ほどになった村ではあるが、オホーツクの寒村にひかれてくる移住者もいるという。



阿部 為吉 議員

● 五百川温泉高温の源泉を
町長…費用や効果を総合的に調査したい

● 児童の安全送迎について
町長…様々な要因を考慮し検討します

五百川温泉に源泉
再掘削を

阿部 より高温の源泉を引く為に、調査、掘削してはどうか。

町長 開始当初から、源泉の含有成分や泉温、湯量等、ともに安定しており、検討していません。

阿部 源泉を加温しているイメージでなく、「源泉かけ流し」というイメージなら、町内外の多くの人から来てもらい、西部地区、ひいては町の交流、発展につながると思う。調査費用は約800万ぐらいと聞いている。色々な調査方法で、ほとんど分かるそうだ。調査・研究する価値があるのでは。

町長 費用対効果などを総合的に調査し判断

したい。

阿部 町、特に西部地区のシンボルであり、町民の憩いの場、観光の拠点、地域活性化の拠点としての位置付けを条例に明文化する必要は。

町長 高齢者の生きがいと健康づくり、高齢者の活動を行う拠点施設として運営します。



改装中の五百川温泉

小学校児童の安全
な送迎について

阿部 少子化による児童の減少、小学校の統合などで、スクールバス・タクシーの送迎が多くなっている。送迎のない地域での1人で登下校する児童の安心

安全面を考慮する上で、今後どのような対応を考えているのか。

町長 距離を基本としますが、近年の少子化の進行で、1人で通学する児童、人家がない状況等、様々な要因を見た上で対応します。

阿部 今回見直された2・0 kmを超える地区での通年下校対応と、この距離には満たなくても通学状況を考慮し利用できるようなった点は評価するが、下校時だけは中途半端なため、登校時の送迎ができないのか。

教育長 登校時は集団での登校であり、見守り隊やスクールガードリーダーによる見守りに対応しますが、下校時は高学年と低学年で時間帯が別々なので、下校時のみとしました。

町民の幸せ

実現のために

阿部 松程地区は2.5 km以上ありますが、どうしてできないのか。

町長 学校までの距離は、地区の中心からとなっています。また、登校時は明るいからというのが、一番の理由です。

阿部 朝が明るいと、距離が集落の中心からとか、今の時代に合っていない。冬は朝も暗いし、除雪も間に合わない場合がある。もう少し考えてもらいたい。

町長 教育委員会や、行政で状況等を考慮し、配慮すべく検討します。



登校中の児童



鈴木義昭議員

●鳥獣被害防止(特にイノシシ)対策について

町長…イノシシを個人や地域でも駆除できる方法の講習会を開催し、被害の軽減に努めます

●自家用除雪機での農道除雪に助成を

町長…複数の人が連携して行う場合は対象となります

早急な
イノシシ対策を

鈴木 今冬の狩猟期間中におけるイノシシの捕獲頭数と、町内での生息頭数の把握は。

町長 今冬の捕獲頭数は、下芦沢、大沼、大暮山で各1頭、計3頭を捕獲しました。

イノシシの生息範囲は町内全域に広がり、行動範囲も広いいため、生息頭数は把握できていません。

鈴木 鳥獣被害対策実施隊と検討会をしているのか。

町長 町では、鳥獣被害防止対策協議会と鳥獣被害対策実施隊が連携し、農作物被害の防止、住民の安全・安心な生活環境の確保について協議しています。被害状況を確認しな

がら、夏期のくくり罠、箱罠での効率的な捕獲について、検討会や学習会を随時行っています。



イノシシに掘り起こされたワラビ畑

鈴木 猟友会のメンバーも高齢化しているので、今のうちに若いハンターを養成する必要があると思うが。

町長 高齢化や隊員の減少は喫緊の課題であり、「山の知識」を継承する若いハンター養成は重要と考えています。新規免許取得者に対し助成を行っており、

今年度は、若手就農者ら5人の方から免許取得の相談がありましたので、支援していきたいと考えています。

鈴木 イノシシを捕獲した人に対して、褒賞制度は考えていないのか。

町長 国の鳥獣被害防止対策交付金では、捕獲に対し最高8000円の補助があり、県では今年度から、4000円の上乗せをします。これらの補助金を活用するのに、県と同額以上の補助を町が上乗せする必要があります。今年度の交付金事業では要望しなかったため、次年度は対応していきます。

鈴木 イノシシ駆除に向けた視察研修や、講習会の実施は。

町長 今年度は、捕獲経

験の多い県外への視察を予定しています。

また、町民の方にもイノシシの生息を知ってもらい、個人や地域で駆除できる方法の講習会も開催し、被害の軽減に努めていきます。

自家用除雪機での農道除雪に助成を

鈴木 自家用除雪機で樹園地まで除雪をしている人に、助成できないか。

町長 町では、平成24年度から果樹の雪害防止のため、雪対策交付金を活用し、スノーモービルの圧雪作業に一時当たり上限3000円の助成を行っています。この交付金は、個人での除雪は対象外ですが、園地等の方が連携して業務を委託する時は対象となります。

9月定例会に意見書提出

各会場での貴重なご意見、ご要望に対し
実現に向けて“がんばります。”

議会報告会終了



大沼公民館（大沼・大暮山）

平成29年度、第6回議会報告会が4月18日、大谷地区、大沼・大暮山地区を皮切りに8日間、16会場で開催されました。各会場とも出席者の熱心な質疑と意見、要望をいただきありがとうございました。

今後、所管委員会において精査し分類した上で、重要な案件については9月の定例会において「意見書」として町長に提出します。

◆ 報告会会場と参加者数 ◆

開催期日	会場	参加対象区	参加者数
4月18日 (火)	大谷往来館	大谷1～7	19
	大沼公民館	大暮山、大沼	13
4月19日 (水)	中沢公民館	中沢、真中、舟渡	14
	栗木沢公民館	栗木沢、川通	14
4月24日 (月)	太郎公民館	太郎1～3、石須部	12
	立木公民館	立木、白倉	12
4月25日 (火)	常盤公民館	常盤、夏草、長沼	12
	松程公民館	松程	3
5月9日 (火)	八ツ沼公民館	西船渡、八ツ沼、能中、高田	15
	大船木公民館	大船木、今平	7
5月11日 (木)	宮宿公民館	本町、西町、栄町、大町、元町、西原	20
	友和館	小原、宿、沼向、平、大隅	13
5月18日 (木)	前田沢公民館	前田沢、新宿、四ノ沢、緑町	14
	送橋公民館	古槇、送橋、下芦沢、水本	14
5月19日 (金)	助ノ巻公民館	助ノ巻、雪谷	10
	上郷公民館	杉山、松原、宇津野、大滝	14
合計			206



助ノ巻公民館（助ノ巻・雪谷）



友和館（和合全区）



立木公民館（立木・白倉）

5・6月分の 議会活動の紹介



5/26 山形ビッグウイング

議会広報常任委員の研修会



6/6 和合地区内

産業厚生常任委員会での現地調査



6/16 県議会事務局

次期山形県議会議員選挙における、寒河江市、西村山郡の選挙区及び選挙区別定数の現状維持について、志田山形県議会議員長へ要望書を提出



6/23 西川町役場

西村山地方議長協議会議員研修会



6/24 朝日町民体育館

朝日町長杯争奪剣道錬成大会



6/25 創遊館

朝日町戦没者追悼式





朝日町で就農2年目 若き果樹農家

せい の なお き
清野 直己さん (23歳)

朝日町産りんごの認知度を高めSNS等での情報発信を強化し、販売力の向上に努めたい。

町民の声

インタビュー

プロフィール

茨城県つくば市生まれ。
県立農林大学校で奥さんの小百合さんと出会い、卒業後に県外で修業したのち奥さんの実家でりんご、さくらんぼ、洋なしの栽培を手掛ける若き後継者。妻、長女、父、母、祖母の6人家族と猫1匹朝日町和合平在住の23歳



2人の愛の結晶 愛娘「ゆずき」ちゃんと

Q 「りんご栽培にかける思い入れは」
A 高齢化により将来、園地周辺の耕作放棄地の増加が予想されるが、能力に応じた集約化等の対策を講ずると共に、比較的労力のかからないロンバス方式の導入をさらに進めていきたいです。

Q 「経営面積は」
A りんごが2ha、さくらんぼ15a、洋なし30aあり、将来はりんごの規模拡大等も視野にいて検討しています。

Q 「朝日町の印象は」
A 水と空気のきれいな町で、都会にはない地域との関わりの深さがあり、容易に地域に溶け込めることです。

Q 「今後朝日町へ望むことは」
A 町内の若手農業者の会との連携による新規就農者への支援等、今後も継続してお願いしたいと思います。
また、観光客や女性農業者への配慮として、**園地内のトイレ設置に対する支援**等も考慮していきたいと思っています。

Q 「将来に向けての構想は」
A 品質第一のりんごを作るのが必須条件。それと同時に、周辺から人を呼び込むには、個人での販路開拓を推進しつつ、大型店舗の開拓や組合の集約化などにより流通コストを抑え、少しでも利益の出る経営体質にしていくべきと考えます。

編集後記

6月3日、西五百川小のすもう大会を観戦しました。緊張の中にも白熱した試合の連続で、地域の伝統文化が失なわれつつある中、児童が最後まであきらまず奮闘する姿に感動しました。

編集委員も今回より新しいメンバーで構成し、町民の皆さんからわかりやすく、気軽に読んでいただける議会だよりをめざし頑張りますので、よろしくお願ひします。(細谷)

【発行責任者】

議長 岡崎 吉博

【議会広報常任委員会】

委員長 細谷 秀明

副委員長 阿部 為吉

委員 柴田喜久雄

委員 鈴木 義昭

委員 松尾 正二

TEL.0237-67-3306
FAX.0237-67-2117